

建設部会長報告

第2回建設部会は建設部会員6名が参加し、6月7・8日に宮城県仙台市の「E E東北'18」と、宮城県黒川郡大郷町の「コマツIoTセンタ」を視察しました。

1. 6月7日、夢メッセみやぎで「E E東北'18」を見学しました。視察内容は下記のとおりです。

○「E E東北」は、建設業における施工の合理化や生産性向上を目的に開催。建設関連の新材料や新工法等、889技術が公開された。

○メイン会場では、「i-Construction (アイコンストラクション)」の中核となるICT技術など最新の技術を含んだ、設計・施工技術、維持管理・予防保全技術、建設副産物・リサイクル技術、防災・安全技術、その他の技術の5分野に区分して展示。視察参加者の中には、新規参入の候補となる事業を見つけ、出展者と代理店契約の話まで進め、翌週に来社約束を取り付けた会社もあった。

○西館展示場では、4回目となるUAV (ドローン) の競技会も開催。競技会は、総合技術部門と一般技術部門に分かれ、総合技術部門では実技と計測結果プレゼンテーションにより飛行操縦と計測技術 (空撮測量) を競い、一般参加部門では実技により空撮技術と飛行操作技術を競った。エキシビジョンでは、操縦の難しさについて解説を交えながら飛行させた。



2. 6月8日、「コマツIoTセンタ」を視察し、コマツカスタマーサポート(株)東北カンパニースマートコンストラクション推進部長の村上仁氏とチーフの菅原陽子氏から、「スマートコンストラクション」について説明いただきました。視察内容は下記のとおりです。

○スマートコンストラクションとは、国土交通省の「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に準拠するコマツのソリューション。スマートコンストラクションを導入することで、建設生産プロセスの最初から最後までを3Dデータでつなぎ、全行程の情報と3次元データの一元管理が可能となり、現場の安全性や生産性、品質の向上が図れるというメリットが紹介された。

○デモンストレーションでは、ICT建機 (油圧ショベル・ブルドーザ) が実際に施工する様子を見学。普段は事務職としてデスクワークをしている女性社員が操作し、自動制御された建機の操作がいかに簡単かを見せていただいた。

○ICT建機試乗では、油圧ショベルとブルドーザに体験試乗した。ICT建機の優れた操作性を体感した参加者からは感嘆の声が上がった。



以上が建設部会からの報告です。